

富士見市
障がい福祉についてのヒアリング調査
報告書

令和5年11月

富士見市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収・参加状況.....	1
6	調査結果（集計結果）の表示方法.....	1
II	結果概要.....	2
1	関係団体について.....	2
2	事業所について.....	5
	（1）サービス提供について.....	5
	（2）相談支援体制・連携状況について.....	7
3	障がい者へのサービス提供について.....	12
4	今後の障がい福祉施策に求めるものについて.....	18
5	その他意見（事業所）.....	41
	調査票.....	43

I 調査の概要

1 調査の目的

計画策定にあたり、障がい者団体をはじめ、障がいに関わる関係団体などの意見や課題などを把握することを目的に、郵送にてヒアリング調査を実施しました。

2 調査対象

関係団体、事業者

3 調査期間

①事前アンケート

令和5年9月19日から令和5年10月4日

②ヒアリング

関係団体 : 令和5年10月18日 10:00～

障がい者事業所 : 令和5年10月18日 14:00～

児童事業所 : 令和5年10月23日 10:00～

4 調査方法

郵送により配布、回収（他、メールによる回収等有り。）

5 回収・参加状況

①事前アンケート

		配布数	回収数	回収率
関係団体		12	10	83.3%
事業所	障がい者	36	24	66.7%
	児童	24	17	70.8%

②ヒアリング出席数

		事業所数	参加人数
関係団体			
事業所	障がい者		
	児童		

6 調査結果（集計結果）の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

Ⅱ 結果概要

1 関係団体について

① 貴団体の活動内容について、可能な範囲でご記入ください。

- ・サンライトホールが使用できない状態なので活動ができない、話し合いができない。
- ・県内の活動が主で、市内では諸団体に加盟しキャラバンなどに参加している。また、個々にレクリエーション・学習会等を行っている。
- ・富士見手話サークルとともに、手話学習、交流を深めている。毛呂山にある重複施設（どんぐり、ななふく苑等）へ寄付する為、富士見市内のイベントに模擬店を出店して、その儲けを寄付する。資源回収も含まれます。等。
- ・障害のある人も無い人も「共に暮らす社会」をめざし、県内・県外、市内・市外を問わず、各団体や人々と情報交換や交流をし活動中。市内においては、精神障害者家族会「あゆみの会」の方々とコラボして楽しく頑張っている(?)います。
- ・市受託事業：手話通訳者派遣事業・手話等講習会事業・あいサポート事業
ボランティアセンター事業
登録ボランティア団体のうち障がい関係の団体
手話サークル・きつつき・かたりべ・歩みの会・オアシス・とめはねフレンズ・ふじの木作業所家族の会・ゆいの里家族の会等
- ・総会資料を参照してください。
- ・利用者からの点訳依頼、点字学習（小学校）、市の障がい福祉課依頼の協力、その他。
- ・視覚障がい者等に音訳サービス等を行う事を目的とする。その為に音訳技術の向上を計り相互の理解と親睦を深め共に生きる地域づくりにつながる事を願い活動する。
- ・毎週木曜日定例会。地域公民館等の行事参加。市の行事への協力・参加。福祉教育への協力。手話講習会への協力。市広報「手話でたのしもう」の協力。

② 構成員の状況（令和5年9月1日現在）

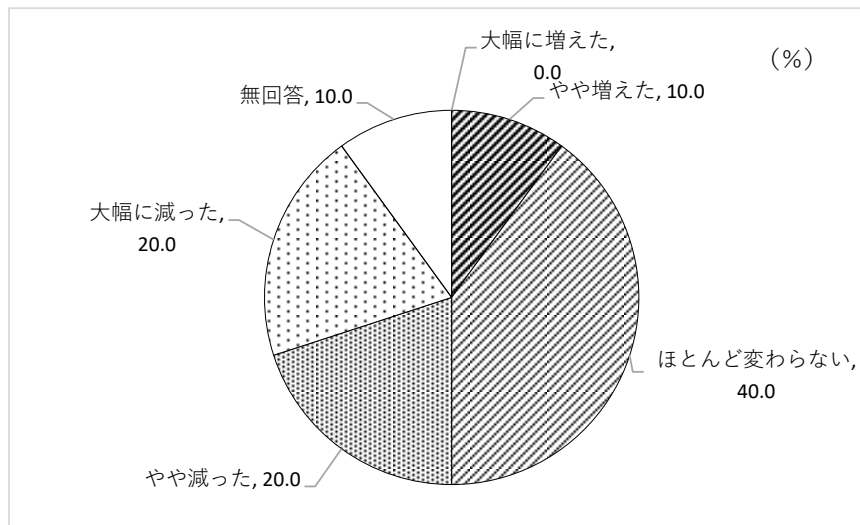
構成員

7名、7名（埼視会1名、良くする会1名、賛助会員2名、他3名）、
9名、15名、15名、
19名、50名、104名

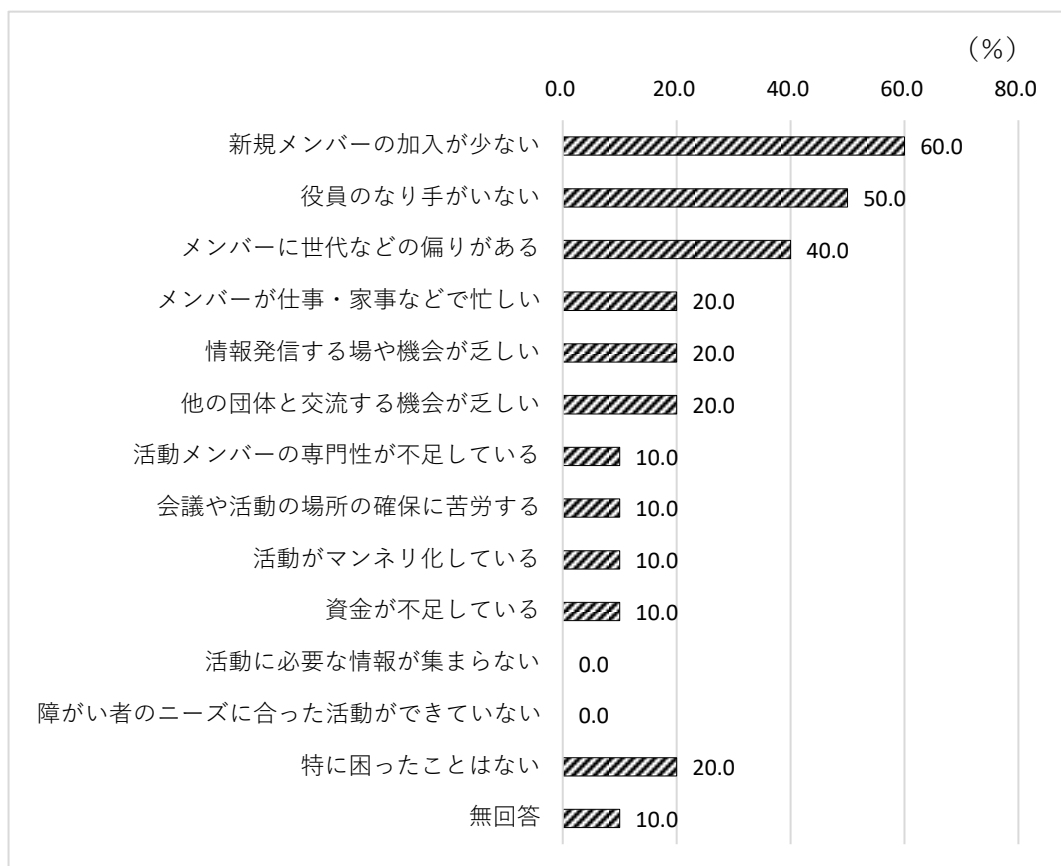
構成員の平均年齢

55～60歳くらい
60歳くらい、65歳くらい、65歳くらい、68歳くらい
75歳くらい、75歳くらい、80歳くらい

③おおよそ3年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。(あてはまるもの1つに○)



④現在の活動上の課題 (あてはまるものすべてに○)



- ・精神障がいについて情報がありましたら、ファクスなどで連絡をください。(保健所や県からの情報)
- ・会員減 (毎年△20人ぐらい)、バザー、売店の事業廃止による資金不足。
- ・講習会を計画したが、応募者がいなかったのが残念。
- ・会員と利用者の高齢化

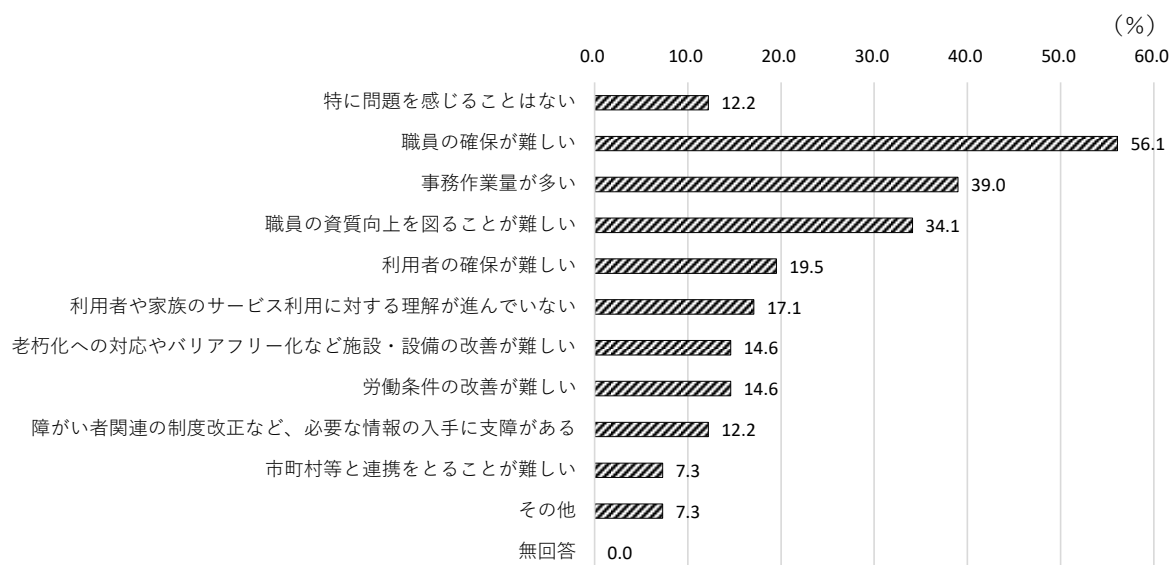
⑤今後の活動で、市民や行政に知ってほしい取り組みなどがあれば自由にご記入ください。

- ・個々の障害への理解。
- ・計画策定が計画だけで終わらないで。その後の結果を聞きたい。8050 問題、市としても対策を考えて下さい。理解しあうために他の団体との交流会を考えて下さい。
- ・富士見市聴覚障害者の会と富士見手話サークルと共に手話交流連携を蜜にしている。
- ・第 2 グループホーム建設に向けた資金、人材の確保が必要となり、法人とともに支える会としても取り組みをしていくので、ぜひ協力者を増やしたい。
- ・点訳グループ「きつつき」さんに発送用 CD のケースに貼る点字を受注いただき、助かっています。利用者さんのご要望に沿った音訳物を作成していきたい。今後は、読むことが困難になってきた高齢者や、読むのはむずかしいが聞くことができる外国籍の方々向けにも発信していきたい。利用者さんの数が年々減っている所以他の利用を考え、福祉課との情報交換などを密にして活動を広げ、現況把握や利用者増幅のご支援を賜りたい。
- ・あいサポート運動のPRを継続していただきたい。

2 事業所について

(1) サービス提供について

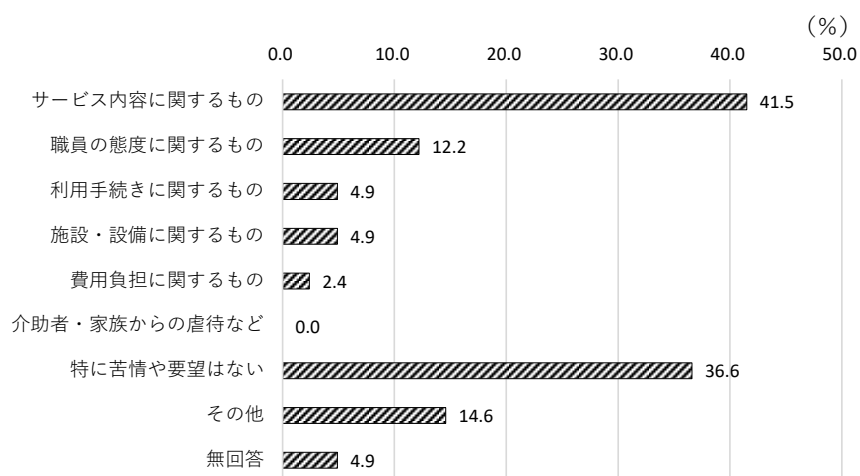
問1 円滑な事業運営を進めていく上で、問題を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



【その他】

- ・ヘルパーの高齢化
- ・利用時間希望の偏り
- ・7の理由：パートが多いため。8の理由：週末や旅行などで利用が少ないが、体調不良時は日中対応が必要になる点。11：①もともと人数が少ない職場なので、コロナや体調不良者がでるとシフトのやりくりが大変で厳しい。②利用者の休日活動拡充のため、個別対応できる行動援護が使えるといい。

問2 利用者や家族からあげられるサービス事業所への苦情・要望はどのようなものが多いですか。(あてはまるものすべてに○)



【その他】

- ・グループホームの理解がない
- ・男性職員さんが増えてほしい。
- ・利用児童間のトラブル
- ・送迎時のトラブル等
- ・1の詳細：主に利用者間でのトラブル、人間関係。

(2) 相談支援体制・連携状況について

問3 貴事業所への相談について、どのような内容が多いですか。

【障がい者事業所】

- ・入所の枠があいているかどうか。緊急ショートを受け入れられるかどうか。
- ・当事業所のサービス提供時間外の問い合わせは複数あります。夕方～夜間、土日等。また親亡きあとの問題として、暮らしの場、成年後見制度等。
- ・今日の今日や今日の明日等、急な派遣依頼。
- ・サービスの内容について→どこまで支援が可能かということが多い。
- ・サービスの内容について→どこまで支援が可能か等が一番多い。
- ・グループホームへの入所希望がある。
- ・将来に向けての不安、見通しについて。日常生活の過ごし方について（身辺処理等）。農作業に対する不安について。
- ・手帳や自立支援医療の更新手続き。就労、金銭管理（使い方）、服薬等。
- ・グループホーム、入所の利用について。
- ・放デイ、児発の発達のことについて。居宅の支援先が見つからないので見つけてほしい。不安や淋しきから話し相手になってほしい。
- ・利用回数を増やしたい旨や、リハビリを受けたいので利用したいとの相談。
- ・利用時間に関する内容
- ・朝の時間帯の送迎依頼。放課後、降所後の一時預かり。
- ・入居相談を含む、部屋の空室情報の相談。
- ・就労関係。近年は引きこもりや就学前の療育に関する相談。福祉サービスを利用希望。
- ・保護者が当事業所で行えるサービスとサービスの対象とならないことの違いが分からない。そもそもどういったサービスがあって、どう使うのかも分かっていないことが多い。相談員さんを活用できない。
- ・送り時間や休日のお迎え時間の相談。学習面での相談。

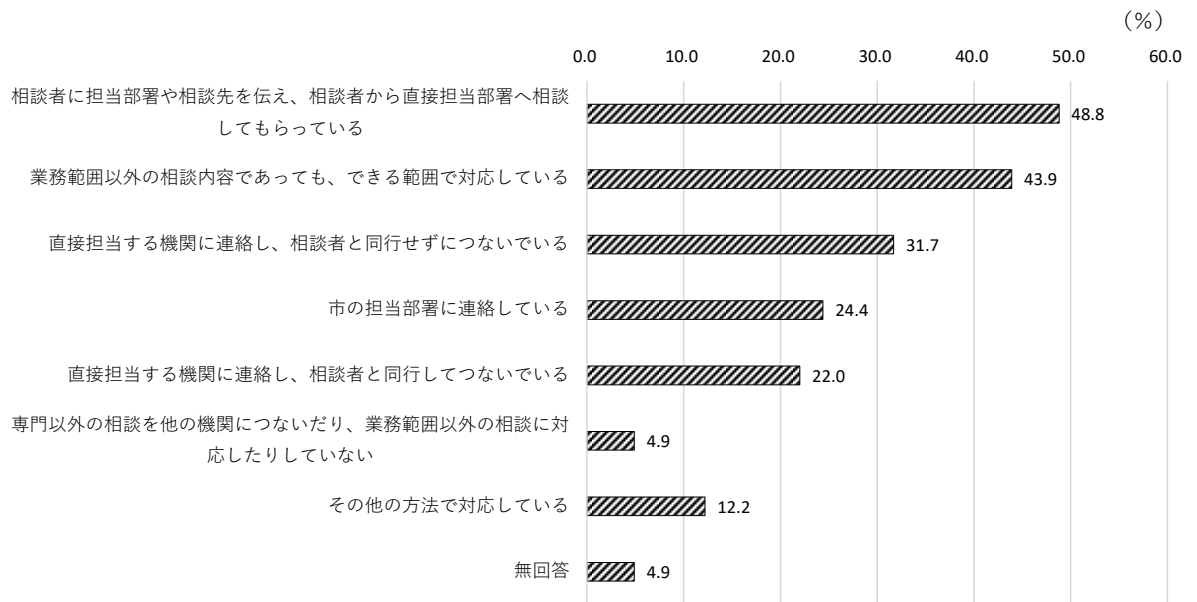
【児童事業所】

- ・発達に関すること。支援学校に関すること。福祉制度に関すること。
- ・児童発達は、療育、集団への内容や連携。放デイは、学習、進学、就職、集団との連携→集団への連携は保訪問へつなげている。
- ・施設の空き状況についての問い合わせ
- ・利用児童のモニタリング、空き状況について（児童のご紹介）
- ・開所間もないこともあり、目立ってはない。相談支援専門員の方がご家族との間に入ってくださり調整してくださり助かってます。
- ・集団行動、指示理解の困難さ。発語の遅れ。
- ・どのような事業所があるか知りたい。どこが合っているか教えてほしい。
- ・利用できるかの相談が多い。児童デイの前後も利用できるか。卒業後の作業所が終わ

ったあと預かりはできるか？

- ・小学校の入学（支援級や支援学校について）
- ・進学における福祉サービスの利用について。
- ・個別の支援について
- ・卒後に関すること。
- ・送迎のニーズが多い。

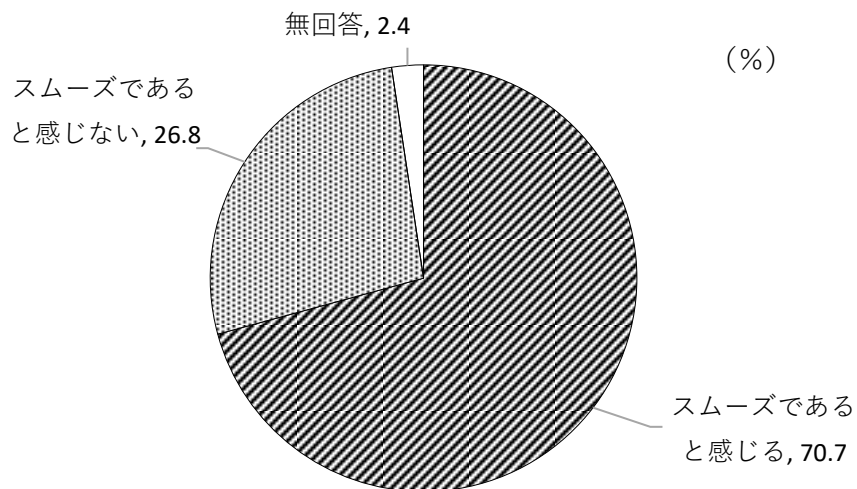
問4 専門分野以外の相談に対する対応について、貴事業所ではどのように対応していますか。



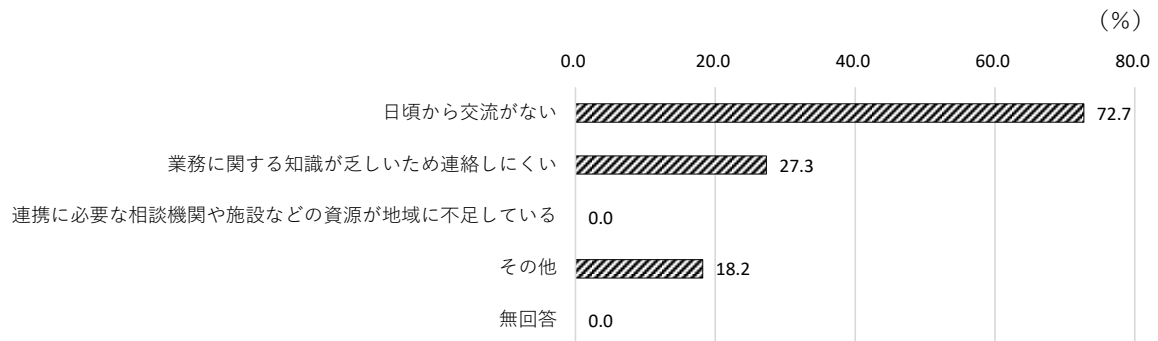
【その他】

- ・相談支援事業所につなげ、一緒に対応している。
- ・法人内専門職に相談する。その後専門機関にもつなぎをつける。
- ・1と2はケースバイケース
- ・相談内容や個人の能力に応じて適所に相談出来る様につなげている。

問5 他の相談機関・施設への連携はスムーズに行われていますか。



問6 問5で「2 スムーズであると感じない」と回答した方におたずねします。そう感じない理由はどのようなものですか



【その他】

- ・交流があっても表面上の関係で深いところまでは話しにくい。
- ・同じ法人内で相談機関があるため。
- ・どちらともいえない。

問7 貴事業所において、複数分野の課題を抱えるケースについて対応した経験があればご記入ください。

【障がい者事業所】

- ・利用者がSNSによる誹謗中傷コメントを投稿したり、契約トラブルに巻き込まれる等、社会性に課題を抱えるケース。他法人のグループホームに入居した際の通院対応ケース等。
- ・コロナ等、特に休日での通院等の対応、休日出勤や長期連続勤務などの課題。
- ・父子家庭で、一年程前に認知症状がひどくなり大工職を続けることができなくなり失業。障害者の子供の方は大学を卒業し求職活動していたものの上手くいかず、行政との連携で生活保護で当座の生活を立て直しを計る。なんとか持ちこたえておりますが、これから先の生活をどう支援していくか、まだ渦の中にいる状態です。(※他の市町村の方です。)
- ・支払いの件、利用者様のひきこもり、利用者様のスタッフへの暴言等。
- ・高齢分野のケアマネさんとの連携。保護観察所、行政機関。
- ・本人だけでなく保護者や親族のケアが必要なケースがあり、担当者会議を実施するケース。就労支援だけでなく生活面の乱れを整えなければいけないケース(金銭面含む)。
- ・利用者の金銭管理を兄弟が行っていて、利用者以外のことに使っていると思われ、福祉課に相談した。
- ・本人の環境を守るために、親族の生活を整える対応。(生保の相談、代筆での手紙の作成など)

- ・多くの利用者は複数の課題を抱えています。多種職連携が大切だと思っています。

【児童事業所】

- ・要家庭支援ケース
- ・外国籍、母子家庭、ネグレクト気味
- ・現在なし。
- ・生活に困窮している母子世帯で兄弟が不登校。さらに母は育児能力が低い。
- ・虐待が疑われるケースで、児相、福祉課、家庭課と連絡を取り合った。

3 障がい者へのサービス提供について

①市全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援はどのようなものでしょうか。 ※事業所は問8

<関係団体>

不足していると感じるサービス・支援	不足している理由（または背景など）
移動・生活サポート	バスが少ない。移動が困難。
相談を受けてもその後の支援フォローがないに等しい。福祉課（精神）の専門職、理解をしている人材が不足。	こちらから聞かないと情報を教えてくれな いと思うことがある。
市内放送、店内放送、公共施設内放送、エレベーター内の緊急放送等、目で見て分かる（電光掲示板等）ものがない。トイレ内も火災報知器には音のみで、目で見て分かるもの、フラッシュが設置されている公共施設等は少ない。	全て音、声のものなので、聴覚障害者には聞こえない、全く分からない。
全ての事に不満です！行政においても一つの課だけではとても出来る事ではないので、三芳町のように「チーム」を作ってみんなで良い町づくりをしてほしいです。 ※「三芳町共生社会推進チーム」参照	一部の課だけで行うよりは、チームで行うことにより職員の意欲の高揚と業務能率は素晴らしく（？）アップすると思う、
①情報保障（音訳・点訳）②制度のはざまのサービス	①現在、広報等の音訳についてはボランティア団体に委託して行っているが、限られた範囲でしかない。責任や業務を担える法人格を有する団体に依頼すべきもの（内容）と、市民の活躍に期待すべきものすみわけをすることで、より視覚障害者の情報保障が充実していくと考える。②65歳の壁の問題。
重度障がい者を安心して預けられるグループホーム等の施設。入所者の高齢化に伴う夜間の支援体制（介護・医療面）	民間のグループホームは重度障がい者を受け入れない。また、仲間（障がい者）一人ひとりに沿った支援、理解が不十分で、就労の継続ができなくなるなどの不安な現状がある。
市として障がい者向けにどんなサービスを展開しているのか、もっと情報公開した方が良いと思います。また市の取り組みだけでなく、他の市や県などの情報も知りたい	自分も含め、家族がいつ障がい者になるかわからない。いざという時にあわてないためにも多くの情報を得ておく事が必要と思います。障がい者の方と直接お会いしお話

不足していると感じるサービス・支援	不足している理由（または背景など）
です。障がい者の方との触れ合う機械や行事。	する事で、思ってもいなかったお話を聞くことができ本当に困っている事など知り、必要な支援が見えてくると感じます。また生きる事のエネルギーをたくさんいただけます。
公共施設へのパトライト設置を希望。全ての行事等に手話通訳がつくこと希望。ヒアリンググループもつけて欲しい。	災害時、聞こえにくい・聞こえない方々、高齢者の方々が瞬時に目で判断しやすい。

<事業所>

【障がい者事業所】

不足していると感じるサービス・支援	不足している理由（または背景など）
重度の障がいの方を24時間サポートするサービス（入所施設も含む）。	ニーズがあるが、それに追いついていないように思います。
最重度の障害者に対応できる暮らしの場。	市内にグループホームの設置はかなり進んでいます。一方で最重度の障害者が入居できたケースはほとんど耳にしません。また、入居しても退去せざるをえなくなったという話は何度か聞きました。保護者からは「安心して預けられる暮らしの場が欲しい」という要望はよく聞きます。
移動支援、通院同行支援。短期利用。	サービス量がニーズに追いついていない。
同行援護	障害福祉サービスを行っている事業所が少ない。
利用者が地域移行する際のサポート	保守的な考えを持つ人が多い。体制が整っていない。
人的資源がどうしても不足している。	訪問介護に係るヘルパーに魅力を感じられないのではないかと思います。
居宅サービス、計画相談	給付費の単価が低いので、事業参入がすすまないのではないかと。
就労支援、移動支援	就労支援は今後も増えていく方が望ましいと考えている（労働の意欲を失わせないようにするため）。障がいを持つ方の声が多いのが、移動手段の充実であるため（公共の交通利便性だけでなく福祉サービスとしての利便性）。

不足していると感じるサービス・支援	不足している理由（または背景など）
特性（障害）が重複している場合に対応できる支援サービス。	特性に応じた施設、スタッフの不足。
居宅の家事援助	人材不足、報酬単価
生サポ、日中一時	事業所に問い合わせをしてもなかなか見つからない。
重度障害者の通所施設	学校卒業後の重度発達障害者が働ける場所が中々見つからないと周囲から聞く事が多い。支援者や施設が足りていない。
生サポ	ニーズが朝夕同じ時間に依頼が来るが、1対1なので車も人も派遣できない（相乗りOKなら対応できる）。
車イスの入れるトイレ	予算不足？
朝送迎の出来る事業所。行動援護の対応出来る事業所。日中預かりの対応出来る事業所。	ヘルパー不足。単価が低いので事業として成り立たない。
移動支援、行動援護	ヘルパーステーションやヘルパーの不足かと思われる。
居宅介護事業所、放課後等デイサービス、児童が利用できる短期入所施設	
みんなのてのように、サービスとサービスのすき間をうめてくれる事業所。	分かりません。
グループホームに在住の障がい者の休日のサポート。また、通院などの付添いも今は家族がやっている部分もあるので、今後使えるとよいです。	異動支援が使えない→在宅時には使っていたサービスがホームへ移り使えなくなった。市としては、ホームは包括型ということで職員が対応するべきとの理由、とのことだが、ホーム職員は一人のみしか配置できておらず、個々のニーズは様々のため（プールやミュージカルに行きたいなど）、年1～2回でもよいので使えるとよいです。研修にて、ホームは在宅扱いのため、使えないのはおかしいと他の市のホームの職員よりアドバイスを受けた。他の市は使えている。

【児童事業所】

不足していると感じるサービス・支援	不足している理由（または背景など）
障害児が入居できる短期入所、発達相談。	障害児の短期入所：資源不足。発達相談：資源不足、専門家不足、周知不足、支援学校等

不足していると感じるサービス・支援	不足している理由（または背景など）
	教育への全委任。
就労施設が終わったあとの利用者を預かってもらえる施設が少ない（児童での放デイのようなもの）。	まだまだ制度や施設など必要なものの整備が進んでいない。
相談支援員の方が実際に児童の様子を見ること。	相談支援員不足
ヘルパーサービス	ヘルパーの不足。雇用の仕方に課題。ヘルパーのイメージとして長時間拘束の割に実働が少ないところがある。必要な時間に集中して働ける仕組みを企業として提案していきたい。
相談支援事業所、相談員が足りていない。	相談員が多忙すぎて、利用者のモニタリング等時間が限られつかまらない。
未就学児の親子サロン（療育ではなく親同士つながりがもてる場）、未就学児の日中一時（レスパイト）	
欠席時対応が加算の対象。外で利用キャンセルが出る事。	
送迎（学校への送迎）サービス	学校への送迎に使えるサービスが少ない。スタッフが少ない。
相談支援事業所	報酬が安いから。
障がい児受け入れ可の短期入所	そもそも施設がない。
就労先（就労、生活介護施設）、グループホーム	保護者より、就労先が少なく苦勞している、利用先が見つかっても預かり時間がみじかく、保護者の方の仕事を調整しなければならず困るといった声を聞く。貴事業所で卒後の事業所をつくってください、といった要望が多い。
相談支援事業所が足りていない。	事業収益上、成り立たない構造に思える。

②地域での福祉サービス基盤の整備、サービス利用の支援、サービスの質の向上に向けた要望やご意見をご記入ください。 ※事業所は問9

<関係団体>

- ・本人や家族はどんなサービスがあるのか分からない事がある。必要だと思われる情報、サービスを提案してほしい。ケアマネージャー等、介護の理解はあるが精神障がいに対する理解は低いので、医療に関する研修強化して連携を図ってはどうか。

- ・全ての放送に関するものは目で見て分かるようにして欲しい（緊急時も含めて）。特に市内放送の内容も、スマホ等にメール（LINE）配信してもらいたい。
- ・現在、工房ゆいの終了時間が15：30であり、帰宅後の居場所として、日中一時を利用している仲間や休日に移動支援を利用している仲間も多くいるが、支援員が不足しているため利用が希望どおりとはなっていない。
- ・近隣とのつき合い、地域のふれ合いが少なくなったと感じます（核家族・高齢化などで）。また、お一人で住まわれている方も多く、民生委員さんなど、現状を把握するのが大変と話されていました。でも、多くの方は人とのかかわりを求めていると思います。大変ですが、サービス利用等、求めて来た人だけでなく、多くの人に関わり発信していく事が大切だと考えます。それには現在福祉の仕事に携わっている方が少なく、受け入れだけで大変だと感じます。働き手を増やす事が必要だと感じます。
- ・飲食関係のお店などで、注文の際伝わりやすいよう、写真やサイズの文字盤などがあると便利だと思う。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・福祉サービスの仕事は、仕事内容、背負っている物の重さの割には魅力的な給料ではないと思います。法律、地域、利用者が求めているものにするには、収入面も含めてやりたくなる仕事になるといいですね。
- ・民間の福祉サービス事業者がより増えてくるとよりよいサービスの質の向上につながると思う。根付く形でより多様なサービスを展開していくと、様々なニーズに応じることができると思う。
- ・医療、学校との関係性を取りやすくしたい。相談支援の運営が成り立つような体制に改善してほしい（お金に繋がらない支援が多い）。
- ・サービス向上のためにも職員不足解消のための協力体制を築いてもらいたい。
- ・大人の放課後支援は、喫緊の課題であり、制度改革を待っているだけでは解決不可能です。行政が先だって柔軟に対応し、代替となるサービスを創設することが望ましいです。
- ・近年、利用者（または家族）からのハラスメントや常識を逸脱した要求（クレーム）が全国的にも課題になっています。他市では、“地域の医療と介護を守る”条例が制定された地域もあります。条例を作ることは簡単ではないと思いますが、ある程度形のあるもの（ルールのようなもの）を作っていけたら良いと思っています。支援者の安全（身体、精神）を確保することは、利用者また市民が安心してサービスを受けることにつながると思います。
- ・災害時の対応→ホーム職員は基本的に常時1名配置のため、急な災害の際、近隣の方の助けがあると安心で、以前の町会長さんも気にかけてくれ、避難行動要支援者の登録をすすめてくれ、市の担当課へ行ったのですが、当時は法人の運営するホームは災

害時は法人内で対応するようと言われ登録できなかったのですが、緊急の場合、3 km 以上も離れている本部へホーム所有の車両もないため、応援の依頼は難しいので、地域との助け合いを強めるためにもぜひ登録を可能にして頂きたいと思います。

【児童事業所】

- ・定期的な研修資料や動画など、催して欲しい。

③その他、障がい福祉サービスや地域生活支援事業に関して感じることをご記入ください。

<関係団体>

- ・日常生活用具の品目を増やして欲しい。
- ・計画書を作成、だけで終わらないで、実現する政策を考えて下さい。
- ・毎年、福祉タクシー利用券を頂いていますが、使いきれずに残す事が多い。他の障害者の方々へ譲ることが出来ないでしょうか？
- ・音訳者の養成については、ボランティア団体への委託では継続性が危ぶまれると考える。(講座の質、担い手等現在のメンバーが継続できていればよいが高齢化や家庭の事情等で出来なくなっていくことも考えられるため)
- ・もともと障がい者施策にかかる予算が少なく、現場スタッフや保護者のがんばりで新しい施設をつくり維持してきたが、限界がある。どんなに仲間、子どもを思い、真面目にいっしょうけんめいやっても現在の報酬では運営は厳しく、親は安心して死ねない。
- ・個人情報保護法の為か、直接私達が視覚障がいの方々の住所など知り得ないので、新規の利用者がいない。点訳ボランティアがあることを当該者に知らせてほしい。
- ・市が現在行っているサービス、支援事業をもっと広く外に向かってアピールして下さい。自分が高齢者になり障がい者になったときもどんな支援が受けられるのか知っておく事が大切だと思います。自分からも情報を得ていく事も必要だと感じます。福祉関係の分野に関わっている方の待遇を向上させる(賃金、労働時間、仕事内容等)取り組みをもっとお願いしたいです。なり手がなく一人に課される負担が大きいと聞きました。さらなる取り組みをお願いします。

4 今後の障がい福祉施策に求めるものについて

① 市民意識の醸成（啓発活動等）

- ・あいサポート（サポーター）研修をずっと続けて欲しい。それぞれの障害者の方々のミニ講演（15分間）もあり、とても良い勉強になります。
- ・障がいへの理解には、分離教育（＝差別教育）をやめ、インクルーシブ教育にすることです。子どもの頃からごく当たり前に一緒に暮らしていれば、ごく当たり前に理解はでき、付き合い方もわかるようになります。
- ・キラリやららぽーとなど、人が集まりやすい環境での販売等はとても有効だと感じているので、継続して実施していけるとよいと思います。
- ・地域の行事に参加していますが、もっと交流できる場がほしい。
- ・コロナ禍もあって、交流は減っていましたので、今後増えていったらいいと思います。
- ・障がいのある方が日頃困っていることや配慮してほしいことなどをまとめた「障がいサポートブック」を作成し、障がいへの理解を深めてほしい。

<関係団体>

- ・アイサポート運動を広げてほしい。
- ・精神障がいへの理解促進のためのセミナーをもって下さい。色々な団体との交流会を企画して下さい。
- ・あいサポート（サポーター）研修をずっと続けて欲しい。それぞれの障害者の方々のミニ講演（15分間）もあり、とても良い勉強になる。
- ・障がいへの理解には、ズバリ分離教育（＝差別教育）をやめ、インクルーシブ教育にすることです。子どもの頃からごく当たり前に一緒に暮らしていれば、ごく当たり前に理解は出来ます。付き合い方もわかるようになります。年に一度や二度ぐらいのふれあいや交流で何が理解できるのですか？差別を大きくするだけです。
- ・あいサポート運動の推進。学校（福祉教育）や地域の集まり等地道に種をまき続けることが大切だと思う。
- ・障がいのある本人を対象とした誰でもが参加できるイベント（スポーツ・交流など）を行い、仲間内だけでなく、一緒につどい楽しめる場をつくってほしい。そこにかかわることで新しいつながり、ボランティアなどに出会えるのでは。
- ・地域のイベントなど、障がいを持つ方々と交流しやすい場を設けてほしい。ふれあう事により理解がすすみ、こちらもたくさん力をいただけると感じております。
- ・9/23、国際手話言語デーのブルーライトアップでの啓発。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・当事業所は南畑という、市内においても地域性の高い地区にあり、また、この地域で

は障害への理解も進んでいるようで、地域トラブルは皆無です。

- ・コロナの影響もあるが、地域活動で交流できる場が少ないと感じる。
- ・あいサポートの役割が大きく貢献していると思います。
- ・キラリやららぽーとなど、人が集まりやすい環境での販売等はとても有効だと感じているので、現在もされているように継続して実施していけるとよいと思う。
- ・地域の行事に参加しているが、もっと交流できる場がほしい。
- ・あいサポートをはじめ、授産製品販売などを市内に広めるPR活動を引き続き先立って行ってほしい。
- ・気軽に当事者同志が集まれる場所があると良いと思います。
- ・障がい者の理解が深まり、サポートのシステムが広がれば、必ずしもヘルパーなど有料のサービスを使わなくても（市や県の予算がなくても）、一人で行動できる範囲は広がって、彼らの生活はもっと充実したものになると思います。（常に一緒に行動しなくても、困った時にだけ理解や手助けがあればよいのです。）

【児童事業所】

- ・当事業所は南畑という、市内においても地域性の高い地区にあり、また、この地域では障害への理解も進んでいるようで、地域トラブルは皆無です。
- ・コロナもあって、交流は減っていたと思うので、今後増えていったらいいと思います。
- ・障がいサポートブックの作成。障がいのある方が日頃困っていることや配慮してほしいことなどをまとめ、解説したものを作成し、障がいへの理解を深める。
- ・潜在的利用児（まだ利用への意思決定ができない家庭）の為の児発事業の理解を深めるようなイベントを市としてもして欲しい。

② 福祉教育や交流活動の推進

- ・身体、知的よりも精神障がいは、理解されずわかりにくいので、理解促進の授業を考えてください。
- ・幼少期こそ一番大切。子どもの頃から障害のある子と無い子が一緒に過ごすことにより、心のバリアも無くなるし、良く理解が生まれます。子どもの頃に分離させてしまうことで、差別は無くならないし「共生社会」にもならない。
- ・若い頃から多くの障がいを持っている方との出会いが必要です。中学校では車イスを押したり、目が見えない方の話を聞いたり、点字を習ったりする授業がありますが、同世代の障がいを持っている方との交流する機会もあると良いと思います。
- ・学校で学べる機会があると良いと思います。
- ・勉強（〇〇が知りたい）をしたいと思う時に情報が少ない、と保護者からの意見がありました。

<関係団体>

- ・身体、知的よりも精神障がいには理解されずわかりにくいので、理解促進の授業を考えて下さい。
- ・富士見市聴覚障害者の会は富士見手話サークルの助けを頂いて市内小学校（11校）から依頼を受けて、1年に1回手話体験講座をしている。それがきっかけで手話をもっと知りたい小学生が何人かいる。
- ・幼少期こそ一番大切。子どもの頃から障害のある子無い子が一緒に過ごすことにより、心のバリアも無いしわざわざ年に数回だけの交流、ふれあいなどしなくても、良く理解が生まれる。子どもの頃に分離させてしまうからいつまでたっても差別は無くならないし「共生社会」にもならないのです！
- ・子育て世代、就労者に向けた理解促進。人権学習等の講演についてはYouTube等で一定期間閲覧できるようにするなど、可能な限り多くの人に見て（聞いて）もらえるようにできたらいい。
- ・社協を通じてやっている。
- ・若い頃から多くの障がいを持っている方との出会いが必要です。中学校では車イスを押ししたり、目が見えない方の話を聞いたり、点字を習ったりする授業がありますが、同世代の障がいを持っている方との交流する機会もあると良いと思います。
- ・あいサポート運動や、福祉教育での手話指導など、小さな頃から受講することにより、福祉への理解が深まると思われる。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・当事業所は富士見特別支援学校やみずほ学園など近隣に幼少期の施設があり連携をしているため特に課題等を感じません。
- ・あいサポートの役割が大きく貢献していると思います。
- ・学校で学べる機会があると良いと思います。
- ・児童が利用できる短期入所施設があると良いです。難しいかもしれませんが、市内にあるグループホームなどと連携できると良いと思います。

【児童事業所】

- ・福祉教育については充分ではないと感じます。特に放デイについては療育や生活スキルの向上というよりも、親の就労支援の側面が強くなっている気がします。
- ・親へのサポート。
- ・勉強（〇〇が知りたい）をしたいと思う時に情報が少ない、と保護者からの意見があった。他の家族や利用者と交流したいがふれあう場が少ない、と保護者からの意見があった。

③ 地域福祉活動の推進

- ・ボランティアの受け入れについて知識がないので、コーディネーターなど、受け入れにあたって指導してくれる人の派遣をお願いします。
- ・コロナのため地域交流が少なくなっているため、交流の場があると有難い。
- ・私達のホームでは、積極的に町内の活動へ参加しています（ゴミひろいやゴルフ大会など）。障がいがあっても地域の人達と関わり、役に立つことが自信になりやりがいを感じられるようで、いい経験となっています。障がいのある方は何かをしてもらう側になることがほとんどですが、逆にやる側の経験も大切かと感じています。

<関係団体>

- ・当事者性のある方が、社会参加につながるような働きかけ。
- ・数年前に引っ越して来られ、ご主人を亡くされ一人になった女性の方から、さびしいからお友達がほしいと相談され、サークルやこんな場所があるとお答えしました。でも結局どこにも出掛けずそのままでした。なかなか勇気が出ず・・・との事。もっと最後までご一緒したり近くの方に（サークルに所属している方に）お声がけをして行動すればよかったと思いました。その方はまたお引越しされました。最後まで関わっていくことが大事だと痛感しました。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・当事業所は福祉喫茶ゆい（中央図書館内）、カフェゆい（ピアザふじみ）にて市民との交流を目的とした喫茶店運営を継続しており、今後も行政と協力しながら営業を継続したいと考えております。
- ・ボランティアの受け入れについて知識がない為、コーディネーター等受け入れ等注意する事を指導してくれる人の派遣。
- ・あいサポートの役割が大きく貢献していると思います。
- ・サービスや事業が多く実施され、制度も充実しているが、その情報が必要としている人に届いていない。広報誌等の一律の広報だけでなく家族会や施設、地域等、的を絞った広報活動も必要である。
- ・1対1なので、ボランティアは特に必要ない。
- ・コロナのため地域交流が少なくなっている。交流の場があると有難い。
- ・私達のホームでは、積極的に町内の活動へ参加しています（ゴミひろいやゴルフ大会など）。障がいがあっても地域の人達と関わり、役に立つことが自信になりやりがいを感じられるようで、いい経験となっています。障がいのある方は何かをしてもらう側になることがほとんどですが、逆にやる側の経験も大切かと感じています。障がいのある方でもできるボランティア活動の機会が増えてくると、彼女達の生活も大きく変わってくると思います。

【児童事業所】

- ・当事業所は福祉喫茶ゆい（中央図書館内）、カフェゆい（ピアザふじみ）にて市民との交流を目的とした喫茶店運営を継続しており、今後も行政と協力しながら営業を継続したいと考えております。
- ・安心して暮らせるよう住民の意識や態度の変容の改善。
- ・視覚障害児の就学保障、支援の充実。学校→放デイ、送迎に苦慮している。
- ・ボランティアの受け入れがなかなかできない。

④ 権利擁護の推進及び地域共生社会の実現に向けた取り組み

- ・多様性を認める市民性・地域性を構築するための取り組みが重要と考えます。そのうえで、各制度の活用について、どこに相談出来るのか窓口を一本化してほしい。
- ・人と違うことがかわいそうである、問題である、という発想自体が本質的に問題ではと感じます。
- ・成年後見制度の利用ニーズが高まっています。社協で実施している成年後見事業が、非常に役立っていてありがたい。良く機能していると感じます。
- ・親の高齢化で親の介護サービス利用が必要になるケースが今後増えると予想されます。障がい分野、介護分野がスムーズに連携できると良いと思います。

<関係団体>

- ・後見人をチェックする所が必要かと思う。
- ・広範囲な障害者の特性を知る為の学ぶ場所が増えると良いのでは？と思う。（例、あいサポート研修等）
- ・多様性を認める、市民性・地域性を構築するための取り組みが重要と考える。そのうえで、各制度の活用について、どこに相談出来るのか窓口を一本化していく。
- ・差別の解消・虐待防止：職員内研修としてだけでなく、保護者と一緒の勉強の場があってもよい。（成年後見制度は定期的開催）
- ・人と違うことがかわいそうである、問題である、という発想自体が本質的に問題ではと感じます。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・当事業所の利用状況を鑑みるに、高齢者分野や介護保険との連携を視野にいれた共生型は適さないと考えております。一方で、上記喫茶は高齢者の利用率が高いことから、福祉サービスから切り離して考えることは可能と思われます。
- ・成年後見制度の利用ニーズが高まっている。社協で実施されている成年後見事業が、非常に役立っていてありがたい。良く機能していると感じます。今後もよりニーズの

高まりがあると思うので、より拡充・充実すると思います。

- ・いじめ防止サポーター、あいサポートなどのように市が積極的に取り組んでいただきたい。
- ・親の高齢化で親の介護サービス利用が必要になったりするケースが今後増えることが予想されます。障がい分野、介護分野がスムーズに連携できると良いと思います。

【児童事業所】

- ・権利擁護についてはしっかり取り組んでいると思います。
- ・地域包括、支えなど発達障がいのある子どもを育てる保護者のストレスや悩みを軽減し、理解につなげていく。

⑤ 障がいの早期発見と早期療育

- ・健康増進センター（相談窓口）、富士見市役所（相談窓口）、病院（相談窓口）、出張所（相談窓口）間の連携を強めてほしい。
- ・目に見えない障がいを持っている方は、周囲の方の理解を得るのがむずかしいとされます。早期発見が大切です。相談する場を多く作る、そして気軽に行ける雰囲気づくりが必要と思います。
- ・市内に専門医がない（？）、少ないように思います。市に専門の心理士など配置して、（何か月も待たずに）相談できるとよいと思います。発達検査なども気軽にうけられるといいのではないのでしょうか。
- ・特に発達障がいや精神障がい以前より広く認識されてきていると思うので、より気軽に相談できるように広報につとめていくとなおよいと思います。
- ・発達相談については資源が不足しているように感じます。特に小学生になると教育への全委任となることは疑問を感じます。
- ・早期発見は子育ての漠然とした不安の解消にもつながり、早期療育で発達を促進できる可能性があると思います。

<関係団体>

- ・いじめ、不登校の問題。
- ・健康増進センター（相談窓口）→富士見市役所（相談窓口）→病院（相談窓口）→出張所（相談窓口）との連携を強めては？
- ・目に見えない障がいを持っている方は周囲の方の理解を得るのがむずかしいとされます。早期発見が大切です。相談する場を多く作る、そして気軽に行ける雰囲気づくりが必要と思います。（なかなかむずかしいですね）

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・成人施設のため、特にありません。
- ・市内に専門医がない(?)、少ないように思います。市に専門の心理士など配置して、(何か月も待たずに)相談できるといいと思います。発達検査なども気軽にうけられるといいのではないのでしょうか。
- ・特に発達障がいや精神障がいが以前より広く認識されてきていると思うので、より気軽に相談できるように広報につとめていくとなおよいと思う。
- ・発達外来の受け入れ先が少ない。発達検査もだいぶ先まで予約が取れない。
- ・最近では”早期療育”の傾向があると感じています。しかし需要が多くなっているのに対し、提供する事業者が少ない様に感じています。5~6歳(就学1年前)の年齢になっても集団に属していない家庭があり、福祉サービスにつなげる支援を行いますが、家族の理解が低く難しい家庭もあります。

【児童事業所】

- ・前項にも記載しましたが、発達相談については資源が不足しているように感じます。特に小学生になると教育への全委任となることは疑問を感じます。
- ・子育ての漠然とした不安の解消にもつながる。早期療育で発達を促進できる可能性がある。
- ・児童発達支援事業所が増えたこともあり、すぐに療育(事業所)につながるケースが増えて、年々低年齢化している。
- ・児童発達支援事業所等の利用に診断書(意見書)が必要だが、受信までに時間がかかる。診断書が出せる病院の不足を感じる。(検査含)
- ・1.6 検診から、3才検診まで間があくので、気になる子への中間検診などあるといい。

⑥ 障がいに応じた療育の充実

- ・孫の保育園に障がいを持ったお子さんが一緒のクラスにいました。孫は時々その子の事を話してくれました。「友達だよ!」と言い、運動会などでできるかぎり一緒にやっておりました。小さい頃から一緒に過ごす大切さを感じましたが、お世話をする先生方は本当に大変そうでした。
- ・児童発達はみずほ学園中心で取り組まれていると思いますが、利用ニーズの高まりもあり、パンク状態ではないかと感じます。市としても民間の児発ノウハウを伝えたり、連携・補助するなど、みずほ学園以外の充実が必要ではないのかと思います。
- ・放課後等デイサービス(放デイ)が不足しています。学習支援を中心に遅い時間で通える事業所を希望しても、空きがなくいけない方が複数います。
- ・相談員や児発管、保護者、担任など、支援者同士の情報共有する機会が少なく、専門知識がある人も少ない。

<関係団体>

- ・健康増進センター（相談窓口）→富士見市役所（相談窓口）→病院（相談窓口）→出張所（相談窓口）との連携を強めては？
- ・孫の保育園に障がいを持ったお子さんが一緒にクラスにおりました。孫は時々その子の事を話してくれました。「友達だよ！」と言い、運動会などでできるかぎり一緒にやっておりました。小さい頃から一緒に過ごす大切さを感じましたが、お世話をする先生方は本当に大変そうでした。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・成人施設のため、特にありません。
- ・児童発達のみずほ学園中心で取り組まれていると思いますが、利用ニーズの高まりもあり、パンク状態ではないかと感じます。市としても民間の児発へノウハウを伝えたり、連携・補助など、みずほ学園以外の充実が必要ではないのかと思います。
- ・中・高生（普通級や支援級）の利用者さんの放デイ先があまり無い。学習支援を中心に遅い時間で通える事業所を希望される方が多いが、空きがなくいけない方が複数いる。
- ・相談員や児発管、保護者、担任など、支援者同士の情報共有する機会が少ない。専門知識がある人が少ない。
- ・土・日利用を求める利用者が多くなってきているように感じます。施設の働き手を充実させるべく、体制を整えてほしい。
- ・⑤と同様です。特に”放デイ”を利用したい、との意向があり、事業所探しをしますが、多くの事業所が”定員一杯”との返答です。放デイ事業所ごと特色があり、選択肢が増えたことは良いと思いますが、利用につなげることが難しいと感じています。

【児童事業所】

- ・福祉教育については充分ではないと感じます。特に放デイについては療育や生活スキルの向上というよりも、親の就労支援の側面が強くなっている気がします。
- ・現在、送迎への需要が多い中、年々減ってきてしまっているようで、同じ事業でも偏りが出てしまっているように感じます。
- ・ふじみ野市、富士見市、三芳町が管轄している体育館、運動場を福祉事業所が負担少なく利用できるようにしてほしい。
- ・保育施設における障がい児の受け入れ（この項目は④に入るのでは？地域共生社会・・・）

⑦ 特別支援教育等の充実

- ・共に学ぶことが大切であり、分けているからお互いに理解されないのだと思う。
- ・幼少期の頃から行動を共にすることで理解が生まれると思う。各小学校や幼稚園・保

育園時代からの当事者との交流が必要です。

- ・個別的な支援・・・分かる喜びや学ぶ楽しさを充実させる。落ち着いて生活できる環境整備。
- ・特別支援学級など、情緒と知的という2つの区分けでは、属せない子も出てくると思う。

<関係団体>

- ・共に学ぶことが大切。わけているからお互いに理解されない。
- ・インクルーシブ教育について、日本は遅れているといわれているが、まずは教育委員会が、インクルーシブ教育とは何？と勉強・研修すべきではないのでしょうか？！
- ・参照（読売新聞 2018年10月29日、真の【インクルーシブ教育】とは（武田徹））
- ・幼少期の頃から行動を共にすることで理解が生まれると思う。各小学校や幼稚園・保育園時代からの当事者との交流。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・進路指導については、もう少し連携が必要かと思います。福祉的就労にあたっては単なる利用者（生徒）の表明されたニーズだけではなく、隠されたニーズも考慮し対応するべきと考えます。「憧れ」や「かっこいい」といったニーズでは長続きはしません。
- ・新型コロナウイルス感染拡大で他のサービスより取り残されてしまう実態があった。家族の介護負担増、相談体制基盤の強化とサービスにつなげていく。

【児童事業所】

- ・前項にも記載しましたが、発達相談については資源が不足しているように感じます。特に小学生になると教育への全委任となることは疑問を感じます。進路指導については、もう少し連携が必要かと思います。福祉的就労にあたっては単なる利用者（生徒）の表明されたニーズだけではなく、隠されたニーズも考慮し対応するべきと考えます。「憧れ」や「かっこいい」といったニーズでは長続きはしません。
- ・個別的な支援・・・分かる喜びや学ぶ楽しさを充実させる。落ち着いて生活できる環境整備。
- ・学校教育は遅いと感じる。支援学級など、情緒と知的という2つの区分けでは、属せない子も出てくると思う。

⑧ 医療的ケアが必要な障がい児・者への支援

- ・高齢化に伴い医療的ケアが必要になってきます。施設にも支援をしてほしい。
- ・ケアが必要な子ども達の保護者は忙しい日々を過ごされてる方が多く（ご近所の方）、

子ども達に関わる時間や金銭的にも大変そうです。

- ・医療的ケア対応が重要なことは理解していますが、当事業所ではこれ以上の対応は困難です。おそらく他事業所も同様の状況のため、行政の強力なリーダーシップが必要です。
- ・災害時の対応、家族のレスパイト、緊急時に対応できる体制があるといいと思います。
- ・心臓に疾患があり、主治医が遠方で、通院が大変になっています。グループホームの職員が付添いしており一日がかりとなります。検査入院時には3日間も連続で通うこともあり、ホーム職員の負担は大きく大変です。

<関係団体>

- ・高齢化に伴い医療的ケアが必要になってくる。施設にも支援をしてほしい。
- ・ケアが必要な子ども達の保護者は忙しい日々を過ごされてる方が多く（ご近所の方）、子ども達に関わる時間や金銭的にも大変そうです。一緒にサポートをする方、金銭的なさらなる支援をお願いしたいと思っております。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・療養介護が近くにあると良いなと思います。
- ・医療的ケア対応が重要なことは理解していますが、当事業所ではこれ以上の対応は困難です。おそらく他事業所も同様の状況のため、行政の強力なリーダーシップが必要と考えます。
- ・受け入れ先が少ない。
- ・災害時の対応、家族のレスパイト、緊急時に対応できる体制があるといいと思います。（病院で対応していると思うのですが、それ以外でも必要があるのかもしれませんが。）
- ・ヘルパーのできる事の限界があるので、対応できない事もある。
- ・医療的ケア児の通常保育園や通常学級への受け入れの前例を可能な状況であるかぎり、作っていてもらいたい。
- ・医療的ケアが必要な方の病状が急変した時など、バックアップベッドがあると良いと思う。（特に障害のある方は敬遠されてしまう）
- ・医療的ケア児または動ける医療的ケア児が利用できる短期入所施設が少なく、レスパイト利用を希望されているご家族はいますが、利用になりません。
- ・心臓に疾患があり、主治医が遠方（熊谷）の人がいて、通院が大変になっている。以前は親が対応していたが、両親とも亡くなり、親族も高齢のため、ホーム職員が付添いしているが一日がかりとなる。主治医へ近くの他の病院へ変えて欲しいと伝えたが、手術した病院が基幹病院となっており難しいとのことだったが、どうにか月一回の薬をもらう病院は市内へ変更してもらえたのですが、年一回の通院はホーム職員で対応している。検査入院時には3日間も連続で通うこともあり、ホーム職員の負担は大き

く大変です。

【児童事業所】

- ・医療的ケアの重要性は理解していますが、当事業所での受け入れは困難です。富士見市のリーダーシップが必要と考えます。
- ・専門機関への紹介。
- ・医療ケア児の実態が把握できていない。医療ケア児の情報の一元化と関係機関の連携・情報共有。医療ケア児の家庭への支援。

⑨ 障がいのある人への就労の支援

- ・あいサポ認定企業に福祉的就労を進めてほしい。また、農福連携を実践しているSOILのような活動を増やしてほしい。
- ・よくいくお花屋さんに、知的障害の方が2名程いらっしゃいます。いつもニコニコと「いらっしゃいませ」と声をかけてくれます。会計などは障害のない方がやっておられ、協力してお店をやっていらっしゃる様子にうれしくなります。周囲の理解と就労の大きな促進を期待します。
- ・市内で積極的に障害雇用している事業所の広報や周知したらいいと思います。例えば、障害者週間の12月の広報で取り上げたりしましょう。
- ・障害者が就労するには、資格の有無にかかわらずジョブコーチが必須です。仕事のやり方を見守る事や、休憩の際に雑談をするだけでも、障害者は安心すると思います。それが長続きすることに結びつきます。
- ・就労や生活介護の事業所が少なく、卒後の選択肢が限られています。

<関係団体>

- ・それぞれの障害者の特性に合った職業があると良いです。例えば、聴覚障害者は電話対応が無理、コミュニケーションが難しい。特性を理解した上で仕事に就けると嬉しい。
- ・あいサポ認定企業に福祉的就労を進めていけないか。また、農福連携を実践しているSOILのような活動を増やしていく。
- ・よくいくお花屋さんに、知的障害の方が2名程いらっしゃいます。いつもニコニコと「いらっしゃいませ」と声をかけてくれます。会計などは障害のない方がやっておられ、協力してお店をやっていらっしゃる様子にうれしくなります。周囲の理解と就労の大きな促進を期待します。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・福祉的就労については、単なる利用者（生徒）の表明されたニーズだけではなく、隠されたニーズも考慮し対応するべきと考えます。当事業所就労B利用者は一般就労等の希望が利用者からのご家族からもあがりません。
- ・経済的な自立に必要なが、一度生活保護を受けた方は収入を得る事に消極的になってしまう。経済的な自立を理解してもらうのが難しい。
- ・健常者と同様に、そのストレスなども含めると更に苦労のある本人の日々の就労の支援に、何か手段はないかと苦しんでいます。
- ・市内で積極的に障害雇用している事業所の広報や周知したらいいと思います。例えば、障害者週間の12月に広報で取り上げたりする。
- ・福祉的就労の認知と、受け入れやすい環境づくりを継続して取り組むとよいと思う。同時に就労支援事業所も支援の質を向上して、長く安心して働くことができる力を養えるようにサポートしていくことが必要だと思う。
- ・障害者が就労するには、現場でサポートしてくれる、資格の有無にかかわらずジョブコーチが必須です。仕事のやり方を見守る事や、休憩の際雑談をするだけでも障害者は安心すると思います。それが長続きすることに結びつきます。
- ・就Bに通いたいを送迎のない所も多く、行けないケースが多々ある（通うのが困難な人）。
- ・どんな障がいがあっても就労にチャレンジ出来るようになってほしい。
- ・重度の障がいがあっても、生活介護などでもペットボトル潰しやタオルたたみなど、少額でも良いので工賃が発生すると本人の自信にもつながるので、その様な生活介護が増えると良いと思う。
- ・就労先あるいは利用する事業所が登録者とマッチングするかを意識して支援していません。就労の促進については、関係機関と連携して対応しています。必要に応じて情報提供や採用面接に同行します。福祉就労については、事務所の利用目的・意義を共有し、有意義な利用につながるよう心掛けています。（就労担当）

【児童事業所】

- ・児童施設のため特になし。
- ・就労や生活介護の事業所が少なく、卒後の選択肢が限られている。

⑩ スポーツ・文化芸術活動の支援

- ・障害者同士の交流会、作品展など考えて下さい。
- ・2025年デフリンピックが東京で開催されます。PRの協力をぜひお願いしたい。
- ・運動不足になり太ってしまう方が多いので、みんなが楽しめるスポーツをする場があるといい。
- ・市で開催されるイベントへ参加したいが、同行者がいない為に参加出来ない人が多い。ボランティアや移動支援などが充実して欲しい。

- ・障がい児対象のスポーツイベントを企画してほしいです。去年、スポーツの日に富士見市の体育館で行われていたイベントで、ゴールボールを体験させてもらい、子どもたちが楽しそうに取り組んでいました。そういったイベントを企画してもらえたらありがたいです。(夏休み、春休み、冬休み、土曜日等)

<関係団体>

- ・障害者同士の交流会、作品展など考えて下さい。
- ・きっかけとしてのイベントの開催。継続的な活動への支援。保護者の送迎の負担軽減。
- ・2025年デフリンピックが東京で開催される。PRの協力をぜひお願いしたい。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・ご家族対応をお願いしています。
- ・運動不足になり太ってしまう方が多いので、みんなが楽しめるスポーツをする場があるといい。
- ・障がいを持っている人達のサークル的な活動があまりない。
- ・車イスでも楽しめる場があるとよい。
- ・市で開催されるイベントへ参加したいが、同行者がいない為に参加出来ない人が多い。ボランティアや移動支援などが充実して欲しい。
- ・障がい者向けの(または障がいの方も可)サークルや習い事があるといいと思います。手頃な参加費で。(特に、体を動かしたり歌ったりなど、発散できるものかいいかと。)高校や大学、公民館のサークルの方などとコラボして、日中活動を作業所と自宅(ホーム)以外に広げられるといいと思います。障がいの軽い方が友達を作って外食や映画などが楽しめるような場があるといいと思います。現在、公民館活動の青年学級がありますが、ほぼ同じメンバーで20年以上、ボランティアも少なく利用する人の親と一緒に参加してどうにか続いている状態です。中心の公民館職員も数年で異動してしまい、参加する障がいの方も障がい重い人もいて課題が多いです。社会教育課と福祉課と連携してうまくやれるといいかと思いののですが。

【児童事業所】

- ・障がい児対象のスポーツイベント等企画してほしいです。去年スポーツの日に富士見市の体育館で行われていたイベントで、ゴールボールを体験させてもらい、子どもたちが楽しそうに取り組んでいました。そういったイベントを企画してもらえたらありがたい。(夏休み、春休み、冬休み、土曜日等)

① 障がいの原因となる傷病の予防と治療

- ・市内に発達障害等の診断ができる医療機関があるとよい。また、市で心理検査など行える心理士等の配置を進めてほしい。
- ・がんの早期発見、治療については、中学や高校の授業に取り入れられています。精神障がいには思春期から発症する事が多く、がんと同様に、誰でも罹る可能性があることを学校教育の中で理解していただくとよいと思います。
- ・日頃から運動不足になりがちなので、障害の種別に分けた運動の仕方など、有識者からのアドバイスなどを受けられるとよいと感じる。
- ・どの病院に通院したら良いのかという問い合わせはよくあります。行政で取りまとめをしてもらえたら助かります。

<関係団体>

- ・障がいの原因には、スポーツ事故、交通事故、薬害等も含まれている。避ける事が出来ない場合もあります。今後のサポートをどうするか？が重要と思います。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・ご家族からはてんかんやダウン症の退行の問い合わせがありました。行政から医療機関への紹介システムみたいなものがあれば助かります。
- ・市内に発達障害等の診断できる医療機関があるといいのではないかと。市で心理検査など行える心理士等の配置があるといいのではないかと。
- ・がんの早期発見、治療については、中学や高校の授業に取り入れられています。精神障がいには思春期から発症する事が多く、だれでも罹る可能性があることを学校教育の中で理解して頂くとよいと思います。
- ・日頃から運動不足になりがちなので、障害の種別に分けた運動の仕方など、有識者からのアドバイスなどを受けられると良いと感じる。
- ・私達のホームの入所者で、肥満の方が（80kg 近い）一人います。現在、通常一人の職員配置で、全職員5人中3人がパート（うち2人が60代、70代と高齢）のため、ケガなどで介助が必要になった際、一人での介助は難しいと懸念している。ご本人には常々気を付ける点や、食事や運動、マッサージなどの予防を伝え支援しているが、全く改善できていない。

【児童事業所】

- ・どの病院に通院したら良いのかという問い合わせはよくあります。行政で取りまとめをしてもらえたら助かります。
- ・医療機関への紹介。

⑫ 障がい福祉サービスの充実

- ・グループホームがもっと多くあるとよい。親なきあと当事者の安心できる場所が必要です。
- ・安心して毎日の生活を送ることのできるグループホームの建設を、強く強く強く望みます。
- ・どんなサービスがあるか、また私が仕事を続けていけるかを悩んだ時、提供される情報の少なさにとまどい驚きました。自分で尋ね足を運ぶことの大切さも実感しました。
- ・入所、療養介護がもっとあると良いと思います。行動問題のある方を24時間365日お世話する施設がもっと必要だと思います。
- ・ホームヘルプ（移動支援）のサービスが不足しています。医療ケアの方が利用できるサービスを充実してほしい。
- ・移動支援がより広く、細かなニーズに応じていけるようになると、自宅中心の生活者が外に出る機会も増えると思う。
- ・入所出来る施設が限られているため、入所出来ない人が多くいる。
- ・居宅介護事業所が少なく、事業所を探すことが困難です。希望する方への提供が遅くなる事を懸念しています。生活サポートについても同様です。
- ・日中活動後からご家族が帰宅されるまでの間のサービスの充実が必要だと感じます。ヘルパー事業所に空きがなく利用が難しい状況です。日中活動を行う事業所の運営時間を増やすことも必要と感じます。
- ・未就学児の日中一時（レスパイト）の場や未就学児のショートステイが必要です。

<関係団体>

- ・グループホームがもっと多くあると良い。親なきあと当事者の安心できる場所。
- ・前項「2. 障がい者へのサービス提供について」での記述のとおり。特に重度障がいをもつ仲間の親の負担は大きい。安心して毎日の生活を送ることのできるグループホームの建設を強く強く強く望みます。
- ・私事ですが、母が少し認知症があり、どんなサービスがあり、また私が仕事を続けていけるか悩んだ時、提供される情報の少なさにとまどい驚きました。自分で尋ね足を運ぶことの大切さも実感しました。あるヘルパーさんが、「お仕事続けられたらどうですか。できるかぎりの事をさせていただきます」とおっしゃって下さり、うれしく、また仕事を続けられ本当にありがたく感謝いたしました。いざという時のこのような制度の必要性を痛感いたしました。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・入所、療養介護がもっとあると良いなと思います。行動問題のある方を 24 時間 365 日お世話する施設がもっと必要なのだと思います。
- ・グループホームは既に記載しました。通院の課題は常在しているため、無償で当事業所職員が通院付添したことは何度もあります。
- ・ホームヘルプ（移動支援）のサービスが不足している状況をどうにかならないのか。医療ケアの方が利用できるサービスを充実したらよいのではないかと？（ニーズを把握して）
- ・移動支援がより広く、細かなニーズに応じていけるようになると、自宅中心の生活者が外に出る機会も増えるように思う。
- ・グループホームでの居心地の良さは、世話人さんの対応にかかっている。年配の方が洗濯や季節に応じた被服の着用、部屋の清掃などのアドバイスをして頂くと良いと思います。
- ・移動支援サービスについて、グループホームに入ってから支援が不足しているように思われる。
- ・ヘルパーさんや移動支援が見つからない。
- ・入所出来る施設が限られているため、入所出来ない人が多くいる。
- ・高校卒業後も親が安心できるように、どのような支援があるのか、放デイなどの施設とも連携してほしい。
- ・大人の放課後支援の創設。
- ・通院や買い物、余暇活動の依頼先が少ない為、増やして欲しいです。
- ・居宅介護事業所が少なく、事業所を探すことが困難です。希望する方への提供が遅くなる事を懸念しています。生活サポートについても同様です。
- ・グループホームでは入所や通所と比べ報酬単価が低いため、最低人数の配置しかできないので、将来的に支援度が高くなった場合や、病気やケガなど一時的に支援が必要になった場合、在宅同様にホームヘルパーを使えるとよいです。（もしくはボランティアの登録や派遣など。）

【児童事業所】

- ・課題、話題としてあがったことはありません。
- ・就労施設が終わったあとの時間、預かってもらえる施設、サービスが全然ないと、卒業生の保護者から多くの声をいただいています。
- ・日中活動後からご家族が帰宅されるまでの間のサービスの充実が必要ではないかと感じます。ヘルパー事業所に空きがなく利用が難しい状況です。日中活動を行う事業所の運営時間を増やすことも必要と感じる。
- ・未就学児の日中一時（レスパイト）の場合。未就学児のショートステイ。
- ・長期休みの時、児童デイ前後に預ける場所がない。児童デイを卒業したあと作業所後の預ける場所がない。
- ・グループホームは数が少なく、なかなか空きが出ない状況で、利用を希望しているが

利用できず、困っている保護者がいる。

⑬ 生活の安定のための支援

- ・入所している障がい者のご家族の高齢化も進み、市や病院への手続きが難しくなってきた方もいます。すでに親のいない方へは補助人等がついていて対応できていますが、そうでない人はホーム側で対応してしています。
- ・障がいのある子どもを育てる保護者の就労の手助けが必要です。
- ・母子家庭や共働きの家庭が多く、兄弟が利用者を見る場面があります。

<関係団体>

- ・各種対応の専門家が欲しい（必要）。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・当事業所では話題としてあがったことはありません。
- ・入所している障がい者のご家族の高齢化も進み、市や病院への手続きが難しくなってきた方もいる。すでに親のいない方へは補助人等がついていて対応できているが、そうでない人はホーム側で対応しており、後見人がつけられるとよいのだが、親自身その手続きも難しくなっている。

【児童事業所】

- ・要家庭支援については、個別サポート加算Ⅱの支給のハードルを下げたいと思います。
- ・訪問支援を活用するなどして支援する。障がいのある子どもを育てる保護者の就労の手助け。
- ・母子家庭や共働きの家が多くあり、兄弟が利用者を見る場面がある。兄弟が大人になっても家族で支援していることが多い。

⑭ 相談支援体制の充実

- ・支援をしている人や活動をしている人が気楽に相談できる場（中間支援）が必要であると感じます。
- ・福祉サービスを利用したい方は増えています。質の良い相談支援体制のためには、もう少し事業所があっても良いと思います。

<関係団体>

- ・広報ふじみに相談について載せているが、市民の方々が広報（情報）を見ている訳ではないので、知らない方が多いです（字が小さいので、見づらいのもあります。）。
- ・福祉課と社会福祉協議会との連携や、協働・情報共有をもっと要望します。支援をしている人や活動をしている人が気楽に相談できる場（中間支援）が必要であると感じます。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・利用者保護者からの相談については第一報が当事業所で受けることが大半のため、特に課題を感じません。
- ・相談事業所がもう少し増えるといいのではないか。
- ・全国的に相談支援事業所の少なさと、相談支援に対する報酬の少なさによる運営の難しさがあると思う。理想は事業所をもっと増やせるとよいと思う。
- ・福祉サービスを利用したい方は増えています。質の良い相談支援体制のためには、もう少し事業所があっても良いと感じています。

【児童事業所】

- ・保護者から市のCWの顔がわからないと意見があった。

⑮ 情報アクセシビリティの向上及び意思疎通支援の充実

- ・すべて、目で分かる情報を求めます。市内放送、店内放送、公共施設内放送、エレベーター内の緊急放送など、目で見えて分かる（電光掲示板等）ものがありません。特に市内放送の内容は、スマホ等にメール（LINE）配信してほしい。
- ・無人レジやスマホでのレストラン予約などが増えて、これまで一人で外出を楽しめていましたが、難しくなってきました。店員さんが理解ある方だと対人で対応してくれたりしますが、困っている時など呼び鈴みたいなサポート（店員さん）を呼べる共通のシステムなどあるといいなと思います。または、障がいがある方がレッドカード（お助けカード）みたいなものを示すシステムなど。

<関係団体>

- ・読み書きに苦慮している。スマホのサポートを充実してほしい。
- ・全て目で分かる情報を求めます。市内放送、店内放送、公共施設内放送、エレベーター内の緊急放送等、目で見えて分かる（電光掲示板等）ものがない。トイレ内も火災報知器には音のみで、目で見えて分かるもの、フラッシュが設置されている公共施設等は少ない。特に市内放送の内容は、スマホ等にメール（LINE）配信してもらいたい。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・無人レジやスマホでレストラン予約などが増えて、これまで一人で外出を楽しんでいたが難しくなっている。店員さんが理解ある方だと対人に対応してくれたりするのだが、困っている時など呼び鈴みたいなサポート（店員さん）を呼べる共通のシステムなどあるといいなと思います。または、障がいがある方がレッドカード（お助けカード）みたいなものを示すなど。

【児童事業所】

⑩ 福祉人材の確保

- ・福祉の専門性をもった職員を確保してほしい。
- ・どうして新しい人材がこないのでしょうか。仕事として魅力があっても将来が見えない職場には来ません。
- ・人材確保がむずかしいです。そのため、ニーズに対するサービス提供がうまく進まず、苦情や要望の増加につながっています。
- ・人事不足ははなはだしいです。富士見市単独（もしくは二市一町）の福祉の就職説明会等を希望します。
- ・障がい者の支援をすることのハードルが高く、常に働く人が不足しています。特にグループホームでは、子育て中や子育てが終わった方などの力があると良いので、仕事の内容などを紹介出来る場が欲しいと思います。
- ・スキルアップについては、事業所内での取り組み以外に、地域でお互いが育ち合うための仕組みが必要だと思います。

<関係団体>

- ・福祉の専門性をもった職員を確保してほしい。生活の実態を知ってほしい。
- ・専門知識を充実してください。知識だけでなく人間的にあたたかみを感じる人を望みます。当事者は、感情は敏感です。
- ・どうして新しい人材がこないのでしょうか。仕事として魅力があっても将来が見えない職場には来ません。職員の待遇改善と意欲の出る職場環境となる方策を。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・人材確保がむずかしいです。そのため、ニーズに対するサービス提供がうまく進まず、

苦情や要望の増加につながっています。また、地域のニーズにも応えづらくなってしまします。(重度のショート希望など)

- ・ 人事不足ははなはだしいです。富士見市単独（もしくは二市一町）の福祉の就職説明会等を希望します。
- ・ 求人をかけても応募がこない。
- ・ 職員が集まりにくい状況です。
- ・ 朝と夜（夜勤）の応募が来ない。
- ・ 男性の正職員確保が難しいことと、ドライバーの希望者がなかなか増えていかない。
- ・ 慢性の人手不足解消のために人材派遣等を市役所にしてほしい。
- ・ 障がい者の支援をする事のハードルが高く、常に働く人が不足している。特にグループホームでは子育て中や子育てが終わった方などの力があると良いので、仕事の内容などを紹介出来る場が欲しいと思います。
- ・ スキルアップについては、事業所内での取り組み以外に、地域でお互いが育ち合うための仕組みが必要だと思えます。
- ・ ボランティア活動を広げて、障がいの方々との関わりや関心を持つ方を増やして、障がい者の生活や実態を知って頂く中で、仕事への興味を持った人を登録してもらい、求人の必要な事業所からも条件を表など見える化して、短時間でも働けるような形（マッチングアプリ的な）ができるとういのではないか??
- ・ スキルアップについて。スタッフのスキルアップを目指し、社内研修や現場での指導を行っていますが、なかなかうまくいかないこともある。

【児童事業所】

- ・ 人事不足ははなはだしいです。富士見市単独（もしくは二市一町）の福祉の就職説明会等を希望します。
- ・ 人材の確保は難しいと感じることが多いです。
- ・ 障がい福祉における知識の共有。
- ・ 全体的な課題となっている為、確保が難しい場合の措置をとってほしいです。
- ・ 富士見市主催で福祉事業所の職員のスキルアップのための勉強会を開催してほしい。
- ・ 人材の確保が難しい。
- ・ キャリアアップはとても難しいと感じる。

⑰ 生活しやすいまちづくり

- ・ 市内3駅周辺にエスコートゾーンを増やしてほしい。
- ・ 建物の入口に音声ガイドをつけてほしい。
- ・ 放送に関するものはすべて目で見て分かるようにしてほしい（緊急時も含めて）。特に市内放送の内容も、スマホ等にメール（LINE）配信してほしい。
- ・ 道が狭い。小さな段差でも車イスのタイヤがひっかかります。車イスの人がひとりで

も出掛けられるまちづくりを進めてください。

- ・ヘルプマークを浸透させてほしい。

<関係団体>

- ・市内3駅周辺にエスコートゾーンを増やして欲しい。
- ・建物の入口に音声ガイドをつけてほしい。公営住宅を増やしてほしい。
- ・全ての放送に関するものは目で見て分かるようにして欲しい（緊急時も含めて）。特に市内放送の内容も、スマホ等にメール（LINE）配信してもらいたい。
- ・「心のバリアフリー」の推進、取り組みは本当に難しい事だと思います。子ども達が小さい段階から啓発活動を行う行事などの取り組みが大切だと思います。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・道が狭い。小さな段差があると車イスのタイヤがひっかかる。車イスの人がひとりでも出掛けられるまちづくり。
- ・障害者手帳や医療費の補助申請の際、数枚の書類に住所氏名等を書くため大変である。出来るだけ簡略にしてもらいたい。
- ・場所によっては車イスで歩道を通ることに危険を感じるので、歩行者と自転車や車イスが通りやすい道の整備が進むと良いと思います。
- ・権利として、選挙には行くが、毎回誰に投票してよいのか難しいとのことだが、職員としても説明が難しい。障がい者に対して〇〇するなど、分かりやすいアピールがあるとよいのですが。タクシーを一人でも呼べたり、支払方法を後でもOKなどにできたら、もっと気軽に使えるかと思います。

【児童事業所】

- ・ヘルプマークの浸透。

⑱ 防犯・防災対策

- ・聴覚障がいの方は、防災無線は聞こえないので、全員に情報が行き渡る方法を講じてほしい。
- ・精神障がい、知的障がいの方はコミュニケーションが難しいので、避難場所は分けてほしい。
- ・有事に、必要な方に必要な支援が提供できるように、平時より取り組みが必要と思う。
- ・HPの指定避難所一覧に、避難所の設備なども詳しく書いてあるとわかりやすいと思います。（エレベーターの設置や緊急でも電気が使えるなど）
- ・災害があった時に医療的ケアが必要な方々の避難場所や準備すべき事等が明確になる

と良いと思います。

- ・グループホームには事業所の車両がないため、緊急時には職員の車両で避難することになっていることが課題です。

<関係団体>

- ・防災無線は聞こえないので、全員に情報が行き渡る様な方法を講じてほしい。
- ・精神障がい、知的障がいの方はコミュニケーションが難しいので、避難場所は分けてほしい。
- ・警察署、消防署、富士見市役所、富士見社会福祉協議会で連携を強めて下さい。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・災害が予想される場合は福祉避難所等、障がい福祉課さんが気にかけてくれているため、特にありません。
- ・警察官の障害者（グループホーム）への理解がない。地域移行をすすめるには理解を深める必要があるのでは？
- ・有事に、必要な方に必要な支援が提供できるように、平時より取り組みが必要と思う。
- ・迷子（？）になってしまう方がいるので地域で見守っていききたい（認知症等）。
- ・災害時、車イス利用者は避難所での生活や移動が困難な為、安全確保ができる場合は事業所に留まる事が望まれない。その際救援物資の届をしてもらえるとより安心だと思います。
- ・現在の避難所は一般の方と同じ避難所を利用するが、出来れば障害のある方に理解のある避難所へ避難を行いたい。HPの指定避難所一覧で避難所の設備など詳しく書いてあるとわかりやすいと思います。（エレベーターの設置や緊急でも電気が使えるなど）
- ・災害があった時に医療的ケアが必要な方々の避難場所や準備すべき事等が明確になると良いと思います。医療的ケア・・・必要な人の把握とどの様な準備をしたら良いのかご案内できるパンフレット等があると良いと思います。
- ・避難行動支援者：問9に記入しました。避難方法：グループホームには事業所の車両がないため、緊急時には職員の車両で避難することになっていることが課題。消費者トラブル：一人で外出した先で、クレジットカードを作らされたことがあった。障がいが軽い人は自分でもいろいろやってしまうことが課題。

【児童事業所】

- ・障害児の場合、保護者からどこへ避難したらよいのか？一般の避難所へは行けないという話をよく聞きます。万が一のとき自宅に残る選択が多くなりそうなので、早急な対応が必要と考えます。

- ・災害マップの作製、避難経路の把握。核施設における避難備蓄の詳細。
- ・福祉避難所の整備・確保（障がい児・者施設は水没する地域に多い）。医療ケアや移動困難な人の把握と発災時の支援内容。

5 その他意見（事業所）

その他、市の障がい福祉施策に関することでご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

- ・重度障害者に対応した「暮らしの場」の整備が急務と考えます。
- ・民間事業所と市のCW（ケースワーカー）がつながり、担当者会議が開催できたことなど、より近い距離で一緒に支援を考えていただけるようになりました。
- ・家に引きこもっている方も多くいると推定されます。その方々をサービス等の社会資源に結びつけることが喫緊の課題と思います。
- ・市内にもグループホームが増えました。入所している方や運営も様々で、課題もいろいろかと思いますが、共通の課題や工夫している取組などもあると思いますので、市内のグループホーム部会的な集まりを定期的開催し、意見や情報交換できたらよいと思います。
- ・個別の障がいをもつ方へのサービスは、しっかりできていると思います。もし可能であれば、事業所（学校も含めて）への備品等を充実させるための支援があるとありがたいです。

<事業所>

【障がい者事業所】

- ・いつもありがとうございます。
- ・重度障害者に対応した「暮らしの場」の整備が急務と考えます。
- ・物価高騰対策として、給付金支給は市内事業所にとっては非常に助かりました。ありがとうございます。富士見市の福祉施策に少しでも貢献できればと思います。
- ・先日、水道光熱費補助（物価高対策）で障害福祉の方で申請したら、グループみずほの方は枠を確保していなかった、県に障がい福祉サービスの指定登録を受けていますか？と言われ、20年近くやって来ているのに市役所の方に認知されていないとは・・・とクラクラしました。
- ・民間事業所と市のCWの方がつながり、担当者会議が開催できたことなど、より近い距離で一緒に支援を考えていただけることに深く感謝しております。今後もよりよい形で連携が深められたらと思います。いつもありがとうございます。
- ・障害者の支援施設に結びついている方はよいと思いますが、家に引きこもっている方も多くいると推定されます。その方々をサービス等の社会資源に結びつけることが喫緊の課題と思っております。
- ・過剰なサービスが標準になってしまい、普通の支援をするとクレームにつながるみたいな事をなくしていきたい。その様な場合は第三者として意見がほしい（協力して頂きたい）。
- ・今年度4月に”障がい福祉のしおり”が発行されましたが、とても丁寧に書かれてい

で見やすいと思いました。

- ・私達のグループホームが開所してから9年が経ち、市内にも多くのグループホームが増えました。入所している方や運営も様々で、課題もいろいろかと思いますが、共通の課題や工夫している取り組みなどもあると思うので、市内のグループホーム部会的な集まりを定期的で開催し、意見や情報交換できたらよいです。いろいろ書いてしまいましたが、ご検討のほどどうかよろしくお願いします。

【児童事業所】

- ・いつもお世話になりありがとうございます。個別の障がいをもつ方へのサービスはしっかりできていると思います。もし可能であれば、事業所（学校も含めて）への備品等を充実させるために手助けとなるサービスがあるとありがたいと思います。よろしくお願いします。

調査票

関係団体用

富士見市障がい者支援計画策定にかかる調査シート

関係団体の皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

富士見市では現在、令和6年度を初年度とする第6期富士見市障がい者支援計画の策定に向けた取り組みを進めています。

この調査シートは、計画策定にあたって、障がい者を取り巻く現状や課題、今後の方向性に関する意向などをお聞きすることで、計画策定の基礎資料とさせていただくものです。

大変お忙しいなか、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和5年9月

富士見市

シートご記入にあたっての注意

1. 障がい者福祉に関するご意見等が多くあり、記入スペースに書ききれない場合は、自由な様式で追加していただいても結構です。
2. この調査シートは、**10月4日(水)までに**、富士見市 健康福祉部 障がい福祉課までご返送ください。

＜ご返送及びお問い合わせ先＞

富士見市 健康福祉部 障がい福祉課

〒354-8511 埼玉県富士見市大字鶴馬 1800 番地の 1

電話 049-251-2711 (代表)

FAX 049-251-1025

メール shogai@city.fujimi.saitama.jp

団体名 _____

記入者 _____

記載年月日 令和5年 _____ 月 _____ 日

2. 障がい者へのサービス提供について

①市全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援はどのようなものでしょうか。

・不足していると感じるサービス・支援

()

・理由など

()

②地域での福祉サービス基盤の整備、サービス利用の支援、サービスの質の向上に向けた要望やご意見をご記入ください。

③その他、障がい福祉サービスや地域生活支援事業に関して感じることをご記入ください。

3. 今後の障がい福祉施策に求めるものについて（自由記述）

・障がい者を取り巻く現状や身近で感じている課題、富士見市に希望することなど、ご自由にお書きください。

※すべてに記入する必要はありません。特に気になることについてご記入ください。

① 市民意識の醸成（啓発活動等）
（障がいへの理解促進について、地域の交流・ふれあいについて など）
② 福祉教育や交流活動の推進
（幼少期における障がいへの理解促進や交流・ふれあいについて、人権学習等の心のバリアフリーについて など）
③ 地域福祉活動の推進
（ボランティアについて、地域での助け合い・支えあいについて など）
④ 権利擁護の推進及び地域共生社会の実現に向けた取り組み
（差別の解消について、虐待防止について、成年後見制度について、高齢者分野や介護保険との連携について）
⑤ 障がいの早期発見と早期療育
（発達に関する相談、各種健診、保健指導、発達支援について など）
⑥ 障がいに応じた療育の充実
（障がい児保育、子ども発達センターについて など）

<p>⑦ 特別支援教育等の充実</p> <p>(特別支援教育、インクルーシブ教育、放課後児童対策、就学・進路指導の充実について など)</p>
<p>⑧ 医療的ケアが必要な障がい児・者への支援</p> <p>(医療的ケアが必要な児童への支援について など)</p>
<p>⑨ 障がいのある人への就労の支援</p> <p>(雇用・就労の促進について、地域の中の働く場の創造について、福祉的就労について など)</p>
<p>⑩ スポーツ・文化芸術活動の支援</p> <p>(スポーツ・文化芸術活動について など)</p>
<p>⑪ 障がいの原因となる傷病の予防と治療</p> <p>(生活習慣病等、傷病の予防や治療について、保健・医療について など)</p>
<p>⑫ 障がい福祉サービスの充実</p> <p>(ホームヘルプサービス、昼間の活動の場、グループホーム、移動支援サービスについて など)</p>

<p>⑬ 生活の安定のための支援 (各種手当等について、ヤングケアラーを含む家族支援について など)</p>
<p>⑭ 相談支援体制の充実 (相談体制について、相談しやすい環境について など)</p>
<p>⑮ 情報アクセシビリティの向上及び意思疎通支援の充実 (情報提供について、コミュニケーション支援について、緊急連絡等の情報のバリアフリーについて など)</p>
<p>⑯ 福祉人材の確保 (障がい福祉に関する人材の確保、スキルアップについて)</p>
<p>⑰ 生活しやすいまちづくり (建物・交通アクセス等生活環境のバリアフリーについて、心のバリアフリーについて、住まいについて、行政手続きについて など)</p>
<p>⑱ 防犯・防災対策 (災害時要援護者の把握、避難方法、災害時の情報提供方法、福祉避難所について、防犯・消費者トラブルについて など)</p>

調査は以上です。お忙しいところご協力ありがとうございました。

この調査シートは、10月4日(水)までに、富士見市健康福祉部障がい福祉課まで
FAXまたは郵送等でご返却ください。

富士見市障がい福祉についてのヒアリング調査報告書

令和5年11月

発行 富士見市

編集 富士見市 健康福祉部 障がい福祉課

電話 049-251-2711(代表)

FAX 049-251-1025